

2024 治山・林道のつどい

令和7年度予算確保に向けた決議採択

昨年11月20日、東京都内において令和7年度の林野公共予算の確保に向けた大会「2024 治山・林道のつどい（全国治山林道協会会長会議主催）」が全国各地から駆け付けた林業・森林土木関係者約400名、国会議員90名余（代理を含む）の出席のもと開催された。



会場の様子

大会では最初に代表の山口俊一徳島県協会長が挨拶し、「相次ぐ自然災害にしっかりと対応していく必要がある。林野3公共で2700億円確保（補正を含め）を目指し一致団結して頑張ろう。」と予算確保に向けた強い

意志を表明された。次に滝波宏文農林水産副大臣の祝辞があり、「緑の国土強靱化を加速させる必要がある。林野公共の予算確保に全力で取り組む。」と心強い激励の言葉をいただいた。

続いて林野庁真城英一国有林野部長による基調報告が行われ、令和7年度予算要求において公共事業は対前年比118%に増額し要求している旨の説明があった。

R7年度概算要求概要

区分	R6	R7	R7/R6
	億円	億円	%
公共	1,982	2,335	117.8
一般公共	1,877	2,230	118.8
治山	624	741	118.8
森林整備	1,254	1,489	118.8
災害復旧	105	105	100
非公共	1,021	1,144	112
合計	3,003	3,478	115.8

その後行われた「現場からの声」の発表では、本県の山内会長が全国の協会長を代表し、平成30年・令和2年に下呂市で相次いで発生した豪雨災害の被害の概要などを報告の上、



発言する山内会長

「いつ襲ってくるかわからない災害から人々の生命・財産を守り、さらに林業の発展を図るには治山・林道事業の推進は不可欠である。林野庁、国会議員の皆様にはこうした『地域の声』を理解いただき、予算確保に特段の配慮をいただきたい。」と訴え、と共に、大会の締めとなる「決議文」を読み上げ、満場一致で採決さ

決議文で決定された国への要請事項

- 緑の国土強靱化への対応
 - 防災・減災・国土強靱化のための5ヶ年加速化対策」による必要・十分な予算を別枠で確保すること。
 - 「国土強靱化実施中期計画」を早期に策定し、切れ目のない対策を推進すること。
- 治山事業及び林道等森林整備事業予算の拡充など
 - 山地災害の早期復旧や事前防災及び林道等路網の強靱化を強力に推進すること。
- 森林吸収源対策の推進及び花粉症対策の加速化
 - 森林吸収源・花粉症対策を進めるため、再造林や間伐などの実施に必要な予算を十分に確保すること。



受賞者の皆さん

治山・林道コンクール受賞者一覧

部門	表彰区分	受賞者
林道維持管理	農林水産大臣賞	下呂市
林道工事	日本林道協会会長賞	板垣建設株式会社（恵那市）
林道木材使用	日本林道協会会長賞	恵那農林事務所
治山工事	日本治山治水協会会長賞	株式会社SEIWA（岐阜市）

れ盛会のうちに終了した。また、引き続き日本治山治水協会・林道協会主催の「令和6年度治山・林道コンクール」の表彰式が行われ、本県から4名の方が表彰されました。